

第2回総会盛大に開催!

こまざわ経済通信

発行

駒澤大学経済学部
同窓会

〒154 東京都世田谷区
駒沢1-23-1

会場にあふれた笑顔 一九九九年の再会を誓う



十一月三十日(土)、第二回経済学部同窓会が開催された。

三年前の第一回総会と比べるとやや少ない出席者であったが、逆に和気あいあいと交流が深められ、大変有意義な一日であった。

総会は、議長団の選出、事業報告、収支報告、予算・役員選任・解任、会則の変更と滞りなく進行した。新生同窓会初代会長として三年間の任期を無事務めた大下剛史氏(42年卒業・プロ野球解説者)の後を受け、新会長には勝場政範氏(31年卒業・勝和社長)が就任した。

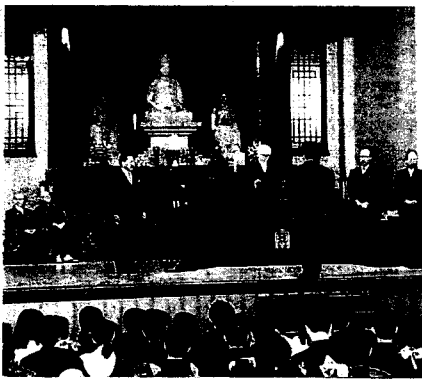
総会に続き、櫻井秀雄総長から、人間とは何かを自覚する駒澤大学の教育目標を、雨宮真也副学長からは大学の発展には、学生・教員・地域社会(OB・OG)の連係が不可欠との話を賜り、同窓会の意義、結束を再確認し、さらなる強化と継続を誓った。

記念講演は、「地震と都市防災」をテーマにNHK解説委員の伊藤和明氏による

もので、身近で誰しもが興味のある話題のため、極めて好評であった。
この日の最後は、大学会館食堂二階での懇親会で、大変盛り上がった。懐かしい仲間の顔もあれば、現在の経済学部の先生の顔もあって、まさに同窓会の意義が凝縮されている時間であった。笑い声、会話、学生時代を同じキャンパスで過ごした一体感は何物にも変えがたいものである。

福引大会も行われ、七草厚司氏(47年卒)が見事一等賞品の自転車を引き当てた。総会この日、正門から壁に沿って並べられたプラントの花々が同窓生たちを迎えた。プラントには「経済学部同窓会」の文字が刻まれ、同窓生たちの目を引いたが、これは同窓会が出資して、副会長を務める谷数正光先生とそのゼミ生たちが世話をしている「学内花いっぱい運動」の成果であると知ってみな納得顔であった。

祝ご卒業



経済学部の皆様、ご卒業おめでとうございます。
晴れて社会人となられる皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。
また、皆様は経済学部同窓会会員となります。我々一同心より歓迎いたします。一九九九年となってよりよい同窓会活動を作り上げましょう。(関連記事2面)



経済学部同窓会は、三年毎に開催する。
三年後には、現在二年生以上の学生が卒業するため、三、四九四人もの新会員が誕生しているはずである。新生同窓会としてスタートした現在、新会員たちの参加を待ち望んでいる。今回の総会に出席した会員たちは、次回、一九九九年の再会を誓っていたが、若し会員たちの考えを取り入れ、新しい魅力をも備えた総会を実現したい。皆様のご協力を賜りたい。

人達喜

「助さん格さん、黙らしてやりなさい」ご老公の一言で大立ち回り、悪人たちがやっつけ

「助さん格さん、黙らしてやりなさい」ご老公の一言で大立ち回り、悪人たちがやっつけるお馴染み水戸黄門のシーンを見ていてふと思ったことがある。悪いのは私利私欲が目ぐるんで悪行を重ねる代官であって、痛め付けられる役人たちは上司に忠実な部下、真面目な職員で理不尽ではないか▼現代に目をやれば公費の不正使用、オレنج共済詐欺などが新聞紙上を賑わしている。代官が悪いからと言ってすべての役人が悪人ではないようにすべての職員を責めることはもちろんないが、なかには上司の悪行に待ったをかける正義漢がいてほしいとも思う▼消費税率が5%になる。国民の大半は若しくなる家計に困惑している。国民の生活を思いやる政府で、それでも増税が必要ならば国民も納得するが、一方で無駄遣いをしていては、賛同は得られない。しかし、この税制を執行する職員も本音は苦しいと思えるが、忠実に仕事をこなすのだらう▼水戸光圀と三つ葉葵の印鑑は、国家を治める者の正義の象徴として劇中描かれている。その正義が忠実な役人をも懲らしめるのは、不正を見て見ぬふりではいけないとわれわれに暗示しているのではないか。
そんな事を考えながら自己反省をする毎日である。

第二期 経済学部同窓会 役員・各代会幹事等

経済学部同窓会 役員会

会長 勝場 政範
 副会長 二宮 至 監査 鈴木 堅蔵
 副会長 谷敷 正光 監査 川崎 諭
 副会長 清水 左京 相談役 石川 京英

総務部会

◎伊藤 吉次
 ・張替 伝
 ・石塚 武
 ・小林清次郎
 ・水上 昭

催事部会

◎斎藤 但
 ・石原 啓延
 ・北沢 文彦
 ・小堀 由里
 ・大内 勝蔵
 ・中島 隆

広報部会

◎佐藤 均
 ・勝場 啓二
 ・水間 伸三
 ・鳥居 博
 ・大沢 隆司
 ・浜門 真吾

財務部会

◎勝山 強
 ・加藤 慎一
 ・河野 哲也
 ・池嶋 良一

組織部会

◎松下 誠之
 ・伊藤 文雄
 ・橋本 貞和
 ・山下 宜秀
 ・吉沢 道雄
 ・杉原 哲男

学外幹事

萩野谷晴弘
 安藤 博昭
 安藤 良則
 飯田 昭二
 古屋 孝
 吉村桂太郎
 矢尻 和範

田中 秀人
 藤園 直志
 松田 茂
 川村 稔
 小林 洋子
 森谷 盛生
 三谷 睦之
 今泉 智浩

明瀬 政治
 平田 次弘
 川路 龍也
 塚本 賢一
 服部 尊光
 小島 桂二
 小谷野浩治

小田 幹雄
 田坂 勝広
 山田 憲彦
 新山 文明

松村 嘉耕
 川辺 貞士
 山崎 亘
 塩田 仁士
 三ツ木俊之
 林 宏
 川名佐登志
 加藤 良彦
 内野 敏彦
 麦倉佳津仁

学内幹事

大淵 勝博
 荒井 幸雄
 江口 勝浩
 竹内 正允
 松村 博
 藤井 道廣
 土井 裕一
 清水 昭道
 奈良田 忠
 大津 勝博
 柿沼 富雄
 土屋 道
 川合 竜一

上田 栢生
 菅野 文夫
 水谷 延久
 大野 利彦
 関 淳一
 室田 礼子
 石川 智恵
 瀬戸 孝尚
 関 直純
 濱口 勲

実松 俊辰
 仁王 聖雄
 田中 泰明
 生方 盛次
 白倉新治郎
 海老沢正範
 松本 亨
 三田 佳男

沢口 洋一
 上原 英典

二瓶 晃一
 高橋 誠雄
 宮下 正修
 柴田 靖枝
 中山 靖枝
 高橋 喜瀬一
 秋沢 英策
 養島 正博
 阿部 博則

(◎)は部会長、(・)は副部会長、この両者は、代表幹事として役員会の構成員となる。

経済学部同窓会会費納入のお願い

【年会費については、3年を1単位として納入する方式に致しております。】

会費納入額と納入時期は以下のとおりです。

- ◇平成9年11月(平成9年3月卒業生および既卒者の新規加入)
平成9年度～10年度(1年分2,000円×2年度分)=4,000円
- ◇平成10年11月(平成10年3月卒業生および既卒者の新規加入)
平成10年度分(1年分2,000円)=2,000円
- ◇平成11年11月(平成11年3月卒を含む全卒業生:第3回総会開催時)
平成11年度～平成13年度(1年分2,000円×3年度分)=6,000円

◆会費については同封の振込用紙にて郵便局から納入下さいますようお願い申し上げます。

各種連絡・振込等には会員番号を忘れずに

これまでに駒澤大学経済学部を卒業した同窓生は約43,000人になります。しかし卒業後に同窓会への異動連絡がなかったために連絡が不可能になる方が例年、後を断らず開催通知の発信人への返送等も非常に多くなって来ております。また連絡を頂いても住所と名前だけで事務処理が非常に困難です。経済学部同窓会事務局への異動等の各種連絡や会費の振り込み等に際しては必ずFaxまたは郵便等書で、同窓会会員番号、卒業年月を忘れずに記入して下さい。

【みなさんの会員番号は、総会開催通知の封筒に記載されている番号です。】
 例:○○○-○○-○○○○○○ 141-93-123456



新会長あいさつ
積極的に活動の強化と継続を!
 経済学部同窓会長 勝場 政範

経済学部同窓会の皆さん
 第二回総会は平成八年十一月三十日に滞りなく終了いたしました。
 総会までの過程で櫻井総長はじめ学内教職員並びに大学同窓会事務局のご理解と学内外の同窓会役員と幹事による奉仕活動と協力に對し役員一同を代表してお礼を申し上げます。
 なお、会費の納入並びに

総会当日ご多忙のところ、ご参加下さいました会員の方に改めて心より感謝申し上げます。
 米国と英国が痛みを伴う改革と変革により長い苦しいトンネルからようやく抜け出し、日本も遅ればせながら、あらゆる分野でシステムの改革と変革が各論に突入しようとしております。一時期痛みを伴う混乱はありますが必ず新しい希望に満ちたシステムと方向性が生まれることを確信しております。現在盛んに産学教育が叫ばれておりますが、今、アメリカを始め先進国に不足しているものは、新しい

競争時代の「和」の精神だとも言われております。人づくりすなわち人材育成こそが急務となっております。駒澤大学も具体的に充実した新しい時代の目標に向かって前進して行くものと思っております。
 同窓会活動も従来のあり方の延長線上でよいのか、マルチメディアの時代に情報もスピード化と近代化が叫ばれている現在、人海戦術ではなく「支部組織」のネットワークを通して効率的な運営を展開することが求められております。
 多様化する社会のさまざまな職業の中で働く皆さん

も、年齢層と地域によって同窓会に求めるものが多様化しております。
 任意団体の同窓会活動を維持継続していくことは、名簿等の情報管理・財務・労務等各分野で困難なものがああります。しかし、経済学部同窓会は、現在、大学同窓会事務局が促進している「支部組織設立」の動向を支援しつつ、学内外の経済学部OBの役員により「経済学部同窓会」の強化と継続について積極的に取り組み検討を進めてまいりたいと考えております。したがって一層のご協力をお願いいたします。
 その上で、早い時期に学部の越えて時代が求める「同窓会」の一本化ができることを願っております。

とを願っております。
 同窓会事業経費のうち郵送料の占める割合が非常に大きいにもかかわらず現在正確な名簿の把握が不十分であることが一番の悩みとなっております。是非、この「紙面」をかりまして、会員の皆様にご協力願いたいことは、知人の現住所と電話番号等を大学同窓会事務局までハガキか電話またはFAXでご連絡していただければ幸いです。



N.H.K.解説委員・伊藤和明氏の記念講演(総会時)

西村紀三郎先生ご退官 ～エネルギーシユな最終講演～



一月三十日、駒澤大学中央講堂において西村紀三郎教授の最終講義が行われた。講義は「大学生活四十余年」と題し、駒澤大学との出会いから、今日までのさまざまな思い出が中心であった。思い出といっても過去を懐かしむばかりでなく常に駒澤大学の発展のためにはどうあるべきかという先生の考えが述べられ、退職する先生の最終講義とは思えない、エネルギーシユで前向きな話であった。

教員になる前、大蔵省勤務時代のあだ名が「ノーマン」というのもおもしろい。何にでもNOという人間だったと自己分析なされた。

大学教員となってからは様々な体験をし、学生運動盛んな時代には、刷新委員会を提案、教職員ともども学園の正常化に尽力された。また、若くして学部長の大役を務め、教務部長、図書

館長も歴任すべてが、道ではなく「やらされだ」という。これの経験はラスになつた先生らしい長では、人見の難しさを教務部長、は、多くの互いの立場で格段にやり、西村先われている心しながら

一方、空長年務めらにとつてはようだ。

年に一度から鶴見・ラソンでは走された話この時先生生達はリタするわけにかつたことでも先生は、



箱根駅伝復路新記録で優勝

出場31年目で初栄冠、総合6位でシート権獲得

駒大

キヤン

一月二、三日
学駅伝競走大会
十七分八秒の大
十二年の初出場
路は九位、総合
躍であった。

箱根の山を駆け
た河合芳隆が笑顔
大西雄三にタスキ
「やったぞ！1吐
た」河合の声が強
区間二位、この口
快進撃を予感させ
あった。八区の北
九区を走ったチー
四年生山下秀人
それぞれ区間二位

東京箱根間往復大学駅伝競走

上復路新記録V

陸上競技連盟

後援 読売新聞社 / 報知新聞社 / 日本テレビ放送網